

昭和47年第2回宜野祿市議会（定例）会議録

7月6日（第4日目）

午前10時8分開会  
午後11時19分閉会

1. 出席議員（19名）

1番 伊 佐 誠次郎	2番 島 徳 吉
3番 大 川 正 雄	4番 天 久 盛 雄
5番 <del>宮 城 正 光</del>	7番 宮 城 仁 敏
8番 又 吉 正 弘	9番 宮 里 敏 行
10番 比 嘉 守 盛	12番 崎 浦 正 博
13番 堀 原 憲 信	14番 仲 村 春 彦
15番 山 本 朝 保	16番 武 島 行 男
17番 多和田 真 一	18番 大 川 昇
19番 玉那福 行 昭	20番 伊 佐 雄 仁
21番 比 嘉 義 定	22番 古波 敏 裕次郎

2. 欠席議員（1名）

5番 宮城正光

3. 議事説明員

市長 崎 岡 達一郎	助 役 式 七 安 一
収入役 眞 屋 好 水	総務部長 伊 礼 徳 元
経済民生部長 多和田 真 一	建設部長 新 垣 善 宗
水道部長 仲 村 春 盛	消防長 大 城 仁 幸
教育長 知 念 康 吉	企画部長 武 島 繁
総務課長 辺 土 名 朝 敏	財政課長 玉 木 盛 一
市民課長 古波 敏 信 三	資産税課長 武 島 正 孝
市民課長 宮 城 正 光	社会課長 比 嘉 盛 光







第2回宜野湾市議会定例会議事日程表(第2号)  
4

昭和47年2月8日(木)午前10時開議

- 日程第1 議案第109号 昭和47年度宜野湾市土地区画整理第二地区清算金特別会計補正予算  
(建設常任委員長報告)
- 日程第2 議案第101号 昭和47年度宜野湾市水道事業会計補正予算  
(建設常任委員長報告)
- 日程第3 議案第103号 昭和47年度宜野湾市公有水面埋立特別会計補正予算  
(建設常任委員長報告)
- 日程第4 閉会中継続審査申出について (陳情第17号)
- 日程第5 陳情第3号 水道に関する陳情  
(建設常任委員長報告)
- 日程第6 閉会中継続審査申出について (陳情第5号)
- 日程第7 議案第102号 昭和47年度宜野湾市一般会計補正予算
- 日程第8 議案第110号 昭和47年度宜野湾市妻まん研究センター特別会計予算



議 案

ニ小川 遊野 湾市議合特別会 第4日目の本会  
議を開きヨリ。

本日ノ日程ノカケヨリハ、10年元ハ配布イ  
ルヨリニ3ノ日程表第4号ノ通り進メイ奉リヨ  
リ。(午前10時8分)

議 案

日程表1. 議案第109号 昭和47年度 遊野湾  
市土地整理費ニ地区清算金、特別会計補正  
予算ノカケヨリハ、先ハ本会諸カヨリヨリイ。  
建設常任委員会ハ審査ヲ行新ニ ありヨリニカ  
一応審査カ 終了リニ ありヨリ。報告者カ 議  
案ノ手元ヲイ奉リヨリヨリ。

議 案

期 議ニ 有暗ニカ ありヨリ。建設常任委員  
カ 報告ヲ求メヨリ。

建設委員 案

議案第109号 昭和47年度 遊野湾市土地整理  
費ニ地区清算金特別会計補正予算ノカ  
ケヨリ。建設常任委員会ノ 審査ノ 過程並ニカ 結  
果ノカ 報告ニ ありヨリ。

本予算ハ 清算金ニ ござリヨリ。特に 契  
カ ありヨリ。ド 検索ノカ ありヨリ 305月ノ 差額カ  
ありヨリ。カ 中ニ 年面ニ 程度カ ありヨリ ござリヨリ  
委員会ニ ありヨリ 際 際ニ ありヨリ ありヨリ ありヨリ。本  
議カ 報告ヲ ありヨリ。以上 報告



七印はげしく思はる。 . . . . .

議 案

本報告に対する質疑を新しむ。

議 案

外に質疑をかり称へございませぬ。質疑を終り委員長の報告を終りたしと思はる。次で、次で議をございませぬ。

(要議のしるべき)

議 案

次で議をございませぬ。質疑をかり委員長の報告を終りむ。

議 案

本案に対する討論を行はむ。

議 案

討論を有るをたしと思はる。次で議をございませぬ。

(要議のしるべき)

議 案

次で議をございませぬ。討論を有るをたしむ。表決を行はむ。



議 案

議案第109号 昭和47年度佐野清市地区重  
整埋築二地区清算金特別会計神の予算にか  
て表決に付したる。

議 案

案の通り決すべく、決案ありとせん。

(要議の14075)

議 案

決案ありとせん。この本案は専ら通り  
可決すべく、決案ありとせん。

議 案

日程第2. 議案第101号 昭和47年度佐野清  
市水道事業会計神の予算にかつた。6月29日  
の本分議にかつた。建設業任委員会に審査を  
付託し、ありとせん。一応審査が終了し、報  
告書の提出ありとせん。  
報告書の調査を省略した。また、建設業  
任委員会に報告を求めた。

建設業任委員会

議案第101号 昭和47年度佐野清市水道事業  
会計神の予算にかつた。建設業任委員会に審  
査済の報告ありとせん。その結果、過程にかつた  
決案ありとせん。

本. 予算にかつた。また、過程にかつた。同様にかつた。







議 長

外に質疑もはしり終りたり。質疑を終りたりと思ひたり。次要議ごさいせんが。

議 長

次要議ごさいせん。質疑を終り並びに委員長の報告を終りたり。

議 長

本来に討ち討論を求めたり。

議 長

討論も省略をはしりと思ひたり。次要議ごさいせんが。

議 長

次要議ありせん。討論を省略はしり。表決に付たり。

議 長

議案第101号 市野津市水道事業分譲促進条例の案を表決に付たり。

議 長

原案通り可決すべし。次要議ありせんが。

(議案第101号を.) . . . . .







を省略したいと思っておりますが、重要議にさせていただきます。

議 長

重要議ありませうかと、質疑を終り、あついで、委員長の報告も終ります。

議 長

本条に対する討論を求めます。

議 長

討論も省略したいと思っておりますが、重要議にさせていただきます。

議 長

重要議ありませうかと、討論を省略したいので、表決に付します。

議 長

議案第103号 昭和47年度近野浄水公有水面埋立特別会計繰上算入額について、表決に付します。

議 長

原案通り決りますので、重要議ありませうかと。

(異議なしと見做す)



議 案

此案議ありとせん。原案通り可決するに  
て決定をいたしむ。

議 案

日程第4. 内合中継続審査申出書にか  
しを議題といたしむ。  
一応事務局長を以て謝辞をさせむ。

議 案

休憩 11時30分 (午前10時20分)  
再開 11時30分 (午前10時21分)

議 案

内合中継続審査申出書にかしを以て。連  
設常任委員会。委員の申出通り認めるとして  
此案議ごさいせむ。  
(異議なしとす)

議 案

此案議ごさいとせん。左様決定をいた  
しむ。

議 案

日程第5. 陣情第3号水道に関する陣情に  
ついて報告書の答へありとせん。一応本報  
告書を事務局長を以て謝辞をいたさせむ。

議 案

休憩 11時30分 (午前10時21分)



議 員

再開 11時10分(午前10時23分)

議 員

建設委員の報告を求めます。

建設委員

陳情第3号 水道に関する陳情の報告を  
造ります。

本問題の討議は、中間報告も答申  
の報告申しあげたが、その後市当局か  
ら水道部長、各関係課長、及び陳情者の代表  
者を呼んで意見を聴取して、その結果を  
示す。その討議中に、市当局又若し水道の陳情  
者、各者話し合ひの場、殆んど解決され  
ていた。この報告を(期)する。その以上要  
論の結論を述べた。その人によつて、  
本会議の一方が、人によつて、  
本会議に返戻する。これを決意して、  
以上の報告を終ります。

議 員

休憩 11時30分(午前10時25分)

再開 11時30分(午前10時26分)

議 員

委員の報告を終ります。委員の報告  
が、その結果、陳情の趣旨が十分  
に、一応、解決済む。その結果、  
その結果、



本陣情のつらさのいふ。一応本分議へ返戻する  
といたすに、必要議ごさひらせん。

(要議なしのとき)

議 員

必要議ごさひらせん。左様決定いたし  
ます。その本日解決しよるに、用答の事柄可  
く作成いたしよる。陣情者へ用答するに  
いたしよる。

議 員

休憩 いたしよる (午後10時27分)  
開会 いたしよる (午後11時8分)

議 員

日程第6閉会中継続審議を申出書にか  
き議願いたしよる。

又今10千円の配布にありまは、総務  
主任委員の大川昇議員から議案あり継続審  
議申出書がなつて居ります。

議 員

休憩 いたしよる (午後11時10分)  
開会 いたしよる (午後11時11分)

議 員

本陣情の閉会中の継続審議を申出書にか  
き議案ごさひらせん。



(議案の経過)

議案

重要議案の取り扱いの件、認めらるるに決  
定した。...

この間、議案の審査を11日に行われ、次  
の定例会議に於て報告をなすこととした。

議案

日程第7議案第102号昭和47年度臨時  
市一般会計科目の整理等に関する件。6月29日の  
本会議に於て、総務常任委員会の審査を  
行ない、その結果が答へに  
つた。附議を省略した。総務常任  
委員会の報告をなすこととした。

総務常任委員会

議案第102号、昭和47年度臨時市一般会  
計科目の整理等に関する件、総務常任委員会の  
報告を行なう。

昨日の中間報告に於て、本会議に於て  
各議員の方から、ある程度から審査され  
ており、私の方から申し述べらるるに  
おきかた。今日10時30分から又総務  
委員会を再開した。報告書をつたへ、決  
定した。原案通り可決するに決  
定した。この理由は、今後、行政  
事務の停滞が起るおそれがある。原案通り可決す  
ることとした。...







(要議第140号)

議長

所要議のりよせん。質疑を終り併せて  
所要の報告も終ります。

議長

本案の討議を求めます。

議長

討論も省略を以て之を以て思ひます。  
所要議のりよせん。

(要議第140号)

議長

所要議のりよせん。討論を省略し  
たい。表決に付します。

議長

議案第102号、昭和47年度市町村一般給  
付金の算出率の表決に付します。

議長

原案通り決す。所要議のりよ  
せん。

(要議第140号)



議 長

必要議ありよせん。原案通り可決すべし  
と決定せられたり。

議 長

休憩あり (午前11時15分)

再開あり (午前11時16分)

議 長

本日の本会議の程度はこれに適合し  
たと思ふが、必要議ござい  
せん。

(議事14分50)

議 長

必要議ありよせん。本日はこれに適合  
いたす。

明日は午前10時から本会議を開き  
ます。

適合 (午前11時17分)



昭和41年7月7日

先日の本会議に引き続き本日午前10時から本会議を開くことになり、出席者は定数に達しないから、流会とする。結局第一回定例会は自然閉会となる。




上記会議録の次第は、書記が記載したものであるがその内容の正確であることを証するためここに署名する。


1972年 11月 29日

宜野湾市議会 議長

議事録署名議員

大川 昇 

議事録署名議員

宮城 正光 



議 決 書

昭和27年 7月 6日 原案可決

宜野湾市議会議長

古波蔵 清次郎





議案第101号

昭和47年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第4回)

宜野湾市



昭和47年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第1回)

(総則)

第1条 昭和47年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第1回)は以下の定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第3条 第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収		入		(単位千円)
科	目	既決予定額	増減額(△印は減)	計
第1款	事業収益	170,549	61	170,610
第1項	営業収益	168,550	8	168,558
第2項	営業外収益	1,999	53	2,052

支		出		(単位千円)
科	目	既決予定額	増減額(△印は減)	計
第1款	事業費	170,549	8	170,557
第1項	営業費用	164,822	116	164,938
第3項	予備費	360	△108	252



(資本的収入及び支出)

第4条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正し、同条文中、  
 [(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額/46/7千円は、当年度分損益勘定留保資金9,244千円、及び建設改良積立金5,373千円で補てんする。)]とあるを  
 (資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,54/6千円は、当年度分損益勘定留保資金9,244千円、建設改良積立金7,126千円及び繰越現金/9,046千円で補てんする。)と改める。

収		入		(単位千円)
科	目	既決予定額	増減額(△印は減)	計
第1款	資本的収入	1,2114	△52	1,2062
第4項	他会計からの負担金	592	△52	540

支		出		(単位千円)
科	目	既決予定額	増減額(△印は減)	計
第1款	資本的支出	26,731	20,747	47,478
第1項	水道改良費	17,489	20,799	38,288
第3項	予備費	180	△52	128

昭和47年6月28日提出

宜野湾市長 崎間 健一郎



（資本的収入及び支出）

昭和47年度事業に要する資本的収入及び支出の予定額を次のとおり認定し、得る支拂、  
 且資本的収入額が前年度の支拂額を超過して不足する額を繰入金として、当年度分繰越金  
 として繰入金とする。及び繰越金不足額を繰入金として不足額を繰入金とする。とあるを  
 と資本的収入額が前年度の支拂額を超過して不足する額を繰入金として、当年度分繰越金  
 として繰入金とする。とあるを、

目	計	既決予定額	増減額 △印は減	計
資本的収入				
資本的支出				

昭和47年度宜野湾市水道事業変更予定資金計画書 単位千円

区	分	既決予定額	増減額 △印は減	変更予定額	区	分	既決予定額	増減額 △印は減	変更予定額
受入資金		229,855	9	229,864	支払資金		207,127	20,755	227,882
1. 事業収益		153,494	61	153,555	1. 事業費		152,596	8	152,604
2. 企業債		5,760	0	5,760	2. 水道改良費		15,033	20,747	35,780
3. 補助金		5,760	0	5,760	3. 企業債償還金		9,062	0	9,062
4. その他資本的収入		2	0	2	4. 預り金		12,320	0	12,320
5. 他会計繰入金		592	△52	540	5. 仮受金		0	0	0
6. 預り金		14,168	0	14,168	6. 一時借入金		10,000	0	10,000
7. 一時借入金		10,000	0	10,000	7. 未払金		3,775	0	3,775
8. 未収金		14,618	0	14,618	8. 未払金		4,341	0	4,341
9. 繰越事業充当資金		0	0	0	9. 繰越事業費		0	0	0
10. 繰越現金		25,461	0	25,461	差引残高		22,728	△20,746	1,982



昭和47年度宜野湾市水道事業変更予定貸借対照表

昭和47年3月31日現在

単位千円

借 方				貸 方			
備 要	既決予定額	増減額 △印は減	変更予定額	備 要	既決予定額	増減額 △印は減	変更予定額
有形固定資産	260,048	12,193	272,241	流動負債	32,224	0	32,224
1.建物	10,042	0	10,042	1.営業未払金	7,390	0	7,390
2.構築物	214,418	12,193	226,611	2.預り保証金	24,834	0	24,834
3.機械及装置	24,606	0	24,606	減価償却引当金	34,268	0	34,268
4.車両運搬具	4,483	0	4,483	資本金	209,547	0	209,547
5.器具備品	6,499	0	6,499	1.自己資本金	123,519	0	123,519
無形固定資産	8,638	8,554	17,192	2.借入資本金	86,028	0	86,028
1.営業権	8,638	8,554	17,192	資本剰余金	32,603	△52	32,551
流動資産	47,165	△20,746	26,419	1.補助金	28,483	0	28,483
1.現金預金	22,728	△20,746	1,982	2.寄附金	2,881	0	2,881
2.営業未収金	20,710	0	20,710	3.他会計繰入金	1,239	△52	1,187
3.材	1,593	0	1,593	利益剰余金	7,209	53	7,262
4.量水器	2,050	0	2,050	1.減債積立金	3	0	3
5.備消耗品	84	0	84	2.建設改良積立金	5,873	0	5,873
				3.繰越利益剰余金	1,333	0	1,333
				4.当年度純利益	0	53	53
計	315,851	1	315,852	計	315,851	1	315,852

収益的収入

款 項	目	既決予定額 (単位千円)	増減額 (△印は減)	計 (単位千円)	各目明細	
					節	金額 (単位千円) 附 記
事業収益		170,549.	61.	170,610.		
1.営業収益		168,550.	8.	168,558.		
	3.その他 営業収益	657.	8.	665.	材料売却 代金	9. 既決 1. 増 8. 補正 9.
2.営業外収益		1,999.	53.	2,052.		
	3.他会計 の負担金	251.	53.	304.	負担金	304. 既決 251. 増 53. 補正 304.



収益の支出

-7-

款 項	目	既決予定額 (単位千円)	増減額 (△印は減)	計 (単位千円)	各目明細		
					節	金額 (単位千円)	附 記
1	事業費	170,549.	8.	170,557.			
	1 営業費用	164,822.	115.	164,938.			
	2 給配水費	24,061.	19.	24,080.	被服費	20.	既決 1. 補正 20. 増 19.
	3 業務費	34,026.	89.	34,115.	賃 金	81.	既決 1. 補正 81. 増 80.
					被服費	10.	既決 1. 補正 10. 増 9.
	その他 営業費用	1.	8.	9.	材料売却 原価	9.	既決 1. 補正 9. 増 8.
3	子備費	360.	△108.	252.			
	子備費	360.	△108.	252.	子備費	252.	既決 360. 補正 252. 減 108.

資本的収入

款 項	目	既決予定額 (単位千円)	増減額 (△印は減)	計 (単位千円)	各目明細		
					節	金額 (単位千円)	附 記
資本的 収入		12,114.	△52.	12,062.			
4 他会計 からの 負担金		592.	△52.	540.			
	負担金	592.	△52.	540.	負担金	540.	既決 592. 補正 540. 減 52.

-8-



資本の支出

款 項	目	既決予定額 (単位千円)	増減額 (△印は減)	計 (単位千円)	各 目 明 細		
					節	金額 (単位千円)	附 記
資本の支出		26,731.	20,747.	47,478.			
/	水道改良費	17,489.	20,799.	38,288.			
	配水施設費	14,723.	12,245.	26,968.	工事請負費	23,945.	既決 11,700. 補正 23,945. 増 12,245.
	2 営業設備費	2,766.	8,554.	11,320.	施設買上費	8,555.	既決 1. 補正 8,555. 増 8,554.
3 予備費		180.	△52.	128.			
	予備費	180.	△52.	128.	予備費	128.	既決 180. 補正 128. 減 52.



建設常任委員会検査報告書

調査第101号 昭和47年度宮野川市水道事業会計補  
正予算

本委員会は、昭和47年6月29日の本会議において付託さ  
れた上記案件について検査した結果次のとおり原案通り可決す  
べきものと決定した。

1 調査の内容

昭和47年度水道事業会計補正予算（第1画）

2 検査の経過

（1） 検査年月日及び委員の出欠席の状況

昭和47年7月4日 全員出席

（2） 検査の方法

当局より水道部長、各課長の出席を求め意見を  
聴取して検査した。

（3） 採決年月日

昭和47年7月4日



3. 決定及びその理由

(1) 決定 原案通り決すべしものと決定

(2) 理由 妥当である

(3) 少数意見留保の有無

なし

上記のとおり報告します。

昭和47年7月4日

施設常任委員会委員長

又 吉 正 弘

宜野湾市懇会会長

古波東 清次郎 様



議 決 書

昭和 27 年 7 月 6 日 原 案 可 決

宜野湾市議会 議長

古波 眞 清次郎





扶養才102号

昭和47年度宜野湾市一般会計補正予算(才1号)

昭和47年度宜野湾市の一般会計補正予算(才1号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

才1条 歳入歳出予算の総額にそれぞれ  $13,840,000$ 円を追加し、  
歳入歳出予算の金額をそれぞれ  $1,657,616,000$ 円とする。

2. 歳入歳出予算の補正の款項のそれぞれが当該各款ごとの金額  
並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「才1条歳入歳出予算補正」による。

昭和47年6月27日提出

宜野湾市長 崎間健一郎



1. 歲入 第1表 歲入歲末予算補正

單位千円

款	項	補正前金額	補正額	計
13. 寄附金		4,621	5,815	10,436
	1. 寄附金	4,621	5,815	10,436
14. 課越金		17,967	8,000	25,967
	1. 課越金	17,967	8,000	25,967
16. 雑収入		52,959	25	52,984
	3. 雑収入	51,192	25	51,217
歲入合計		1,643,776	13,840	1,657,616



2. 成本

单位千册

款	项	修正前額	修正額	計
2. 總務費		174.968	2.152	177.120
	1. 總務管理費	99.448	1.995	101.443
	2. 徵稅費	38.792	157	38.949
4. 衛生費		38.111	100	38.211
	2. 清掃費	21.144	100	21.244
5. 勞働費		8.352	91	8.443
	1. 天業対策費	8.352	91	8.443
6. 農林水産業費		17.650	2.109	19.759
	1. 農業費	17.623	2.109	19.732
8. 土木費		787.241	7.979	795.220
	1. 土木管理費	46.012	△ 282	45.730
	2. 道路橋梁費	73.764	5,815	79.579
	3. 都市計畫費	470.902	1,997	472.899
	4. 住宅費	196.563	449	197.012
9. 消防費		45.406	445	45.851
	1. 消防費	45.406	445	45.851
14. 予備費		720	964	1,684
	1. 予備費	720	964	1,684
歲出合計		1,643,776	13,840	1,657,616

1. 総括

歳入歳出修正予算事項別明細書

歳入

单位千円

款	修正前額	正額	計
13. 寄附金	4,000	5,815	10,446
15. 繰越金	17,000	8,000	25,967
16. 諸収入	52,959	25	52,984
歳入合計	1,643,776	13,840	1,657,616



歳出

— 2 — 单位千円

款	修正前ノ額	修正ノ額	計
2. 総務費	174,968	2,152	177,120
4. 衛生費	48,111	100	48,211
5. 労働費	8,352	91	8,443
6. 農林水産業費	17,650	2,109	19,759
8. 土木費	787,241	7,779	795,220
9. 消防費	45,406	445	45,851
14. 予備費	720	964	1,684
歳出合計	1,643,776	13,840	1,657,616

歳入

(△印は減)

— 3 — 单位千円

款項	目	修正前 の額	修正額	計	部		説明
					区分	金額	
13	専財金	4,621	5,815	10,436			
	1 専財金	4,621	5,815	10,436			
	2 土木専財金	4,620	5,815	10,435	道路改良事業 専財金	5,815	
15	繰越金	17,967	8,000	25,967			
	1 繰越金	17,967	8,000	25,967			
	1 繰越	17,967	8,000	25,967			
16	雑収入	52,959	25	52,984			
	3 雑入	51,192	25	51,217			
	6 雑入	28,028	25	28,053	雑入	25	
歳入合計		1,643,776	13,840	1,657,616			



歳入

(△印は減)

款項	目	補正前 の額	補正額	計	節		説明
					区分	金額	

歳出

(△印は減)

単位十円

款項	目	補正前 の額	補正額	計	補正額の財源内訳			節		説明	
					特定財源			一般 財源	区分		金額
					政府 支出金	市債	その他				
2	総務費	174,948	2,152	177,100							
	総務 管理費	99,448	1,995	101,443							
	一般 管理費	22,736	1,074	24,810				3	職員手当	599	下水道課(平形八配和)の 退職手当 $30 \times \frac{10}{100} \times 27,280 = 818.40$
								9	旅費	180	自治大 税務専門課程 研修費
								11	需用費	75	市制10周年式典費 式典展本用字要録等引伸 $¥1,500 \times 50 \text{冊} = ¥75,000$
								12	役務費	220	庁内通話架設料
5	資産 管理費	2,779	866	3,645				12	役務費	600	車検心子整備料



支出

(△印は減)

8

款 項 目	補正額	計	補正額の財源内訳			一 般 財 源	部		説 明
			特 定 財 源				区 分	金 額	
			政 府 支 出 金	市 債	其 他				
倉庫費	288	291				工 事 費	266	庁舎修繕費 ¥266,441	
						交 付 金	25	中部市村会画主管者 会議費 ¥3,000	
宅 全 灯 業 費	1,225	1,277			52	11 費用費	52	公署防止危険防止及び 地安全対策に係る記録用紙 711/4 白黒 ¥150 × 1/2 × 20 = ¥1,200 23- ¥50 × 1/2 × 20 = ¥500 現像 白黒 ¥100 × 5 = ¥500 23- ¥250 × 5 = ¥1,250 焼付 白黒 ¥25 × 20 × 2 = ¥1,000 23- ¥65 × 20 × 2 = ¥2,600 引伸焼付 白黒 ¥200 × 50 = ¥10,000 23- ¥60 × 30 = ¥1,800	

支出

(△印は減)

單位千円

三

款 項 目	補正額 の 額	補正額	計	補正額の財源内訳			一 般 財 源	部		説 明
				特 定 財 源				区 分	金 額	
				政 府 支 出 金	市 債	其 他				
文教費	38,772	38,772				157				
教 務 給 費	34,715	34,715				157			1 報酬 12 ¥2,000 × 3 × 2 = ¥12,000 臨時職員失業保険料 ¥20,000 × 1/10 = ¥2,000 臨時職員健康保険費 ¥12 × 4 × 220 = ¥1,056 市校職課車賃 ¥1,050 × 4 × 220 = ¥9,240 固定資産査定費 ¥100 × 3 × 3 = ¥900 固定資産評価事務全額事務 連絡協議会給金(入道山) ¥18,920 × 2 = ¥37,840	
									備 品 費 ¥2,200 × 1 = ¥2,200	

9



歳出

(△印は減)

10

款項目	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説明
			特定財源				区分	金額	
			政府支出金	市債	その他				
1 補正費	38,111	100	38,211						
2 清償費	21,224	100	21,224						
2 倉庫管理費	4,746	100	4,746			12 投資費	100	庫検=33 整備料	
5 労務費	3,352	91	3,443		25				
1 天災対策費	3,352	91	3,443		25				
1 天災対策費 2 対策費	5,430	91	5,521		25	12 投資費	91	天災対策費改正=33 不足分 ¥20,222 消防対策費改正=33 不足分 ¥22,372 健康保険料 ¥47,923	

歳出

(△印は減)

単位千円

款項目	補正額の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説明
				特定財源				区分	金額	
				政府支出金	市債	その他				
農林水産費	17,650	2,109	18,759							
1 農業費	17,623	2,109	18,732							
1 農業費	1	1,143	1,144						臨時取戻失業保険料 ¥780,000 × $\frac{65}{1000} = ¥51,700$ 臨時取戻健康保険費 ¥13 × 3' × 6M = ¥234	
1 農業費									農地法関係事務反公 現地確認臨時取戻 ¥1,000 × 250 × 3' × 6M = ¥450,000 期末手当 ¥1,000 × 250 × 3' × $\frac{200}{100} = ¥75,000$	

11



款項目	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
			特定財源			一般財源	区分	金額	
			政府支出金	市債	その他				
							11 需用費	223	消耗品費 ¥144,550 文書交付印 ¥4,000 印鑑箱 ¥300 心子9-B5 ¥150×25=¥16,250 " B4 ¥700×25=¥17,500 車A消耗品 ¥56,000 月刊誌 ¥300×10=¥3,000 法令集追録 ¥29,000 印刷製本費 ¥82,080 農地法関係様式15種
							12 役務費	1	

款項目	補正前 の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				政府支出金	市債	その他				
								13 本設料	1	
								13 備品 購入費	131	ナバー477(6冊) ¥3,500 算盤 ¥1,000×2=¥2,000 キャビネット B4 ¥21,000 " B5 ¥16,000 書庫 ¥64,000 田書 ¥23,900 農地本委員会披石印 ¥1,400 農地法関係法令集 ¥12,000 農地法関係例規通達 ¥2,500 新農地関係法 ¥2,200 農地転用許可基準の解説 ¥200 その他農業委員2冊 農地法関係田書 ¥5,000



歳出

(△印は減)

— 14 —

款	項	目	補正額	計	補正額の財源内訳			部		説明	
					特定財源			一般財源	区分		金額
					政府支出金	市債	その他				
										19 負担補助 交付金	/
		農業 総務費	12,370	390	12,760			390	3 職員手当	390	時間外勤務手当 138,940 農業基本整備費整備費現地 確認 7,510 × 270 = 2,027,700 送券人給与・確認調査整理 7,510 × 10 × 2 × 28 = 4,162,200 普通業務 736,000
		農業 振興費	4,553	576	5,129			576	19 負担補助 交付金	576	一般農業購入補助金
		土木費	787,241	2,222	789,463			2,222			
		土木 管理費	46,172	△ 282	45,890			△ 282			

歳出

(△印は減)

単位千円

款	項	目	補正額 の額	補正額	計	補正額の財源内訳			部		説明	
						特定財源			一般財源	区分		金額
						政府支出金	市債	その他				
		土木 総務費	46,012	△ 282	45,730			△ 282	28 繰入金	△ 282	4308 と 4305 に 1% 差額分	
		道路 補償費	72,764	5,815	78,579			5,815				
		道路施設 改良費	48,417	5,815	54,232			5,815	13 委託料	990	管内 30km 道路工事施行管理費	
									15 工事請負費	4,825	管内 30km 道路乳剤撒布工事	
		都市 計画費	470,902	1,997	472,899			1,997				
		都市計画 総務費	35,636	1,695	37,331			1,695	1 報酬	208		
									3 職員手当	1,108	合計 7,208 = 2,000 = 9,208,200 F道 7,005 = 540 = 7,545,500 施設 7,408 = 40 = 7,448,200	
									7 雑費	975	建設省・道庁事業費 3,207,200 林道入付費 2,200,000	

— 15 —



歳出

(△印は減)

款項	目	補正額	計	補正額の財源内訳			部		説明	
				特定財源			一般財源	区分		金額
				政府支出金	市債	その他				
							橋名購入費	建築費 7,960 047年度公営住宅費 7,650 建築関係費 7,120		
	新築費	207,166	△ 1,416	207,750		△ 1,416	工事費	新築計画協会費不足分		
	都市下水道費	178,467	1,718	200,185		1,718	工事費	大崎場1区 7,469,400 下道下水道工事費中排水管改修工事 排水区1区 7,250,400 下水道工事費中排水管改修工事 工事費計変更		
	住宅費	176,563	△ 449	177,012		449				
	住宅管理費	817	△ 449	1,266		449	工事費	住宅管理住宅口取管工事水口工事設置工事		

歳出

(△印は減)

単位千円

款項	目	補正額の額	補正額	計	補正額の財源内訳			部		説明	
					特定財源			一般財源	区分		金額
					政府支出金	市債	その他				
	予備費	△ 5,406	△ 445	△ 5,851							
	予備費	△ 5,406	△ 445	△ 5,851							
	薪給費	57,400	△ 225	57,525			2給料	277	政務課事務員中移管153名俸給 $7,345,560 \times 2A = 44 \times 7,276,450$		
	薪給費						3取組費	128	特別勤労費 $7,0600 \times 44 \times 2A = 7,288,000$ 勤労手当 $7,345,560 \times 44 \times \frac{100}{100} = 7,138,240$		
	予備費	720	964	1,684							
	予備費	720	964	1,684							
	予備費	720	964	1,684							
	歳出合計	164,776	1,334	165,710					5,840 8,000		



補正予算給与費明細書

単位千円

予 算 款	算 目 項	職 員 数	給 酬		特 別 給 付	毎 科 職 員 当 計	天 府 費	合 計
			報 酬	給 付				
2. 総務費			12			599		611
	1. 総務管理費					599		599
6. 農林水産費			12					12
	2. 徴税費							990
8. 土木費						990		990
	1. 農業費					990		990
9. 消防費			208			1108		1316
	3. 都市計画費		208			1108		1316
9. 消防費					277	168		445
	1. 消防費				277	168		445
合計(補正予算)			220		277	2265		2762
補正前入額			20850		217773	134972	25428	977923
合 計			20670		218050	136497	25428	400185

昭和三十七年度新潟市一般会計補正予算

昭和三十七年度新潟市一般会計補正予算

本委員会は、昭和47年6月29日の本会議において付託された上記案件について審査した結果次のとおり原案通り可決すべきものと決定した。

1. 審査の内容  
要案

昭和47年度新潟市一般会計補正予算

2. 審査の経緯

(1) 審査年月日及び委員の出席状況

昭和47年6月30日	出席4名・欠席1名
7月3日	★ ★
7月4日	出席5名
7月6日	出席5名

(2) 審査の方法

当局より助役、関係部課長の出席を求め意見を聴取して審査した。

(3) 議決年月日

昭和47年7月26日



3 決定及びその理由

- (1) 決定 原案通り可決すべきものと決定
- (2) 理由 行政事務の滞りが起こらないため
- (3) 附帯意見 上司は確実に部下の事務を掌  
握すべきである。
- (4) 少数意見留保の有無

な し

上記のとおり報告します。

昭和47年7月6日

総務常任委員会委員長

大川 昇

宜野湾市議会議員  
古波真 晋次郎 殿



議案第103号

議 決 容

昭和27年 7月 6日 原 案 可 決

宜野湾市議会 議長

古波蔵 清次郎





議案第143号

昭和47年度宜野湾市公有水面埋立特別会計補正予算(第1号)

昭和47年度宜野湾市公有水面埋立特別会計補正予算(第1号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

- 第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,570千円を減額し歳入歳出予算の金額を歳入歳出それぞれ1,598,733千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

昭和47年 6月 28日提出

宜野湾市長 崎間 健一郎



第1表 歳入歳出予算補正

(単位千円)

歳入

款	項	補正前の額	補正額	計
1 財産収入	1 財産売却収入	1	0	1
2 繰入金	特別会計 1 繰入金	29,019	△282	28,737
3 繰越金	1 繰越金	1,324,400	△1,288	1,323,112
4 借収入		3	0	3
	1 市予金利子	1	0	1
	2 雑入	2	0	2
歳入合計		1,654,863	△1,570	1,653,293



歳出

(単位千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 土木費	1 埋立土木費	132676	△1290	131386
2 公債費	1 公債費	28770	△280	28490
3 予備費	1 予備費	17	0	17
歳出合計		161463	△1570	159893

1 総括

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(単位千円)

款	補正前の額	補正額	計
1 財産収入	1	0	1
2 繰入金	29019	△282	28737
3 繰越金	132440	△1288	131152
4 諸収入	3	0	3
歳入合計	161463	△1570	159893



歳出

(単位千円)

款	補正前の額	補正額	計
1. 土木費	132,676	△1,290	131,386
2. 公債費	28,770	△280	28,490
3. 予備費	17	0	17
歳出合計	161,463	△1,570	159,893

歳入

(△印は減)

(単位千円)

款項	目	補正前の額	補正額	計	箇		説明
					区分	金額	
2. 繰入金		29,019	△282	28,737			
1. 特別会計繰入金		29,019	△282	28,737			
	1. 公有水面埋立事業特別会計繰入金	29,019	△282	28,737	繰入金	△282	
3. 繰越金		132,440	△1,288	131,152			
1. 繰越金		132,440	△1,288	131,152			
	1. 繰越金	132,440	△1,288	131,152	繰越金	△1,288	7308改帳(7314)繰越
歳入合計		161,463	△1,570	159,893			